

# 形状認識にAIを採用

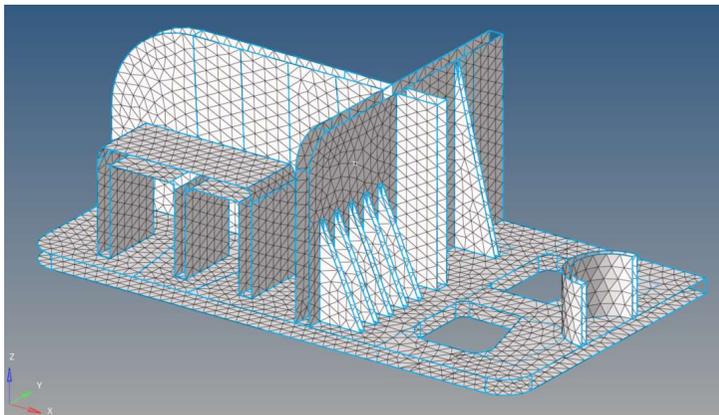
- 形状認識にAIを搭載
  - 30個以上のデータで学習機設定
  - 誤認識を修正して学習機に登録することで、
    - お客様に特化した学習機がお客様自身で構築できる
    - 次回以降同様の誤認識は起こさないなので、次回以降の作業の軽減が図れる
- 形状認識は、上記のAIと従来の形状認識結果を総合的に判断して決定

# メッシュ生成に外表面を用いる

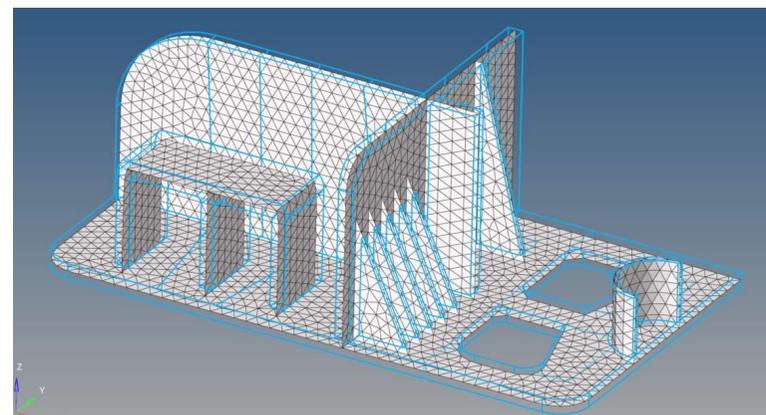
LATON\_CASIA3はミッドメッシュをスタートメッシュとして最終メッシュを生成します。  
LATON9は外表面メッシュを中立メッシュの位置まで移動させたメッシュをスタートメッシュとし最終メッシュを生成します。

## 外表面メッシュを利用するメリット

1. 外表面メッシュには形状崩れ、メッシュ乱れがなく、最終メッシュ生成の後工程で外表面形状を再現したメッシュをミスなく生成できます。
2. 外表面メッシュを中立位置に移動させなければ**意匠面メッシュ**が生成できます。また、リブは中立面で、平面は意匠面でという混在が可能です。

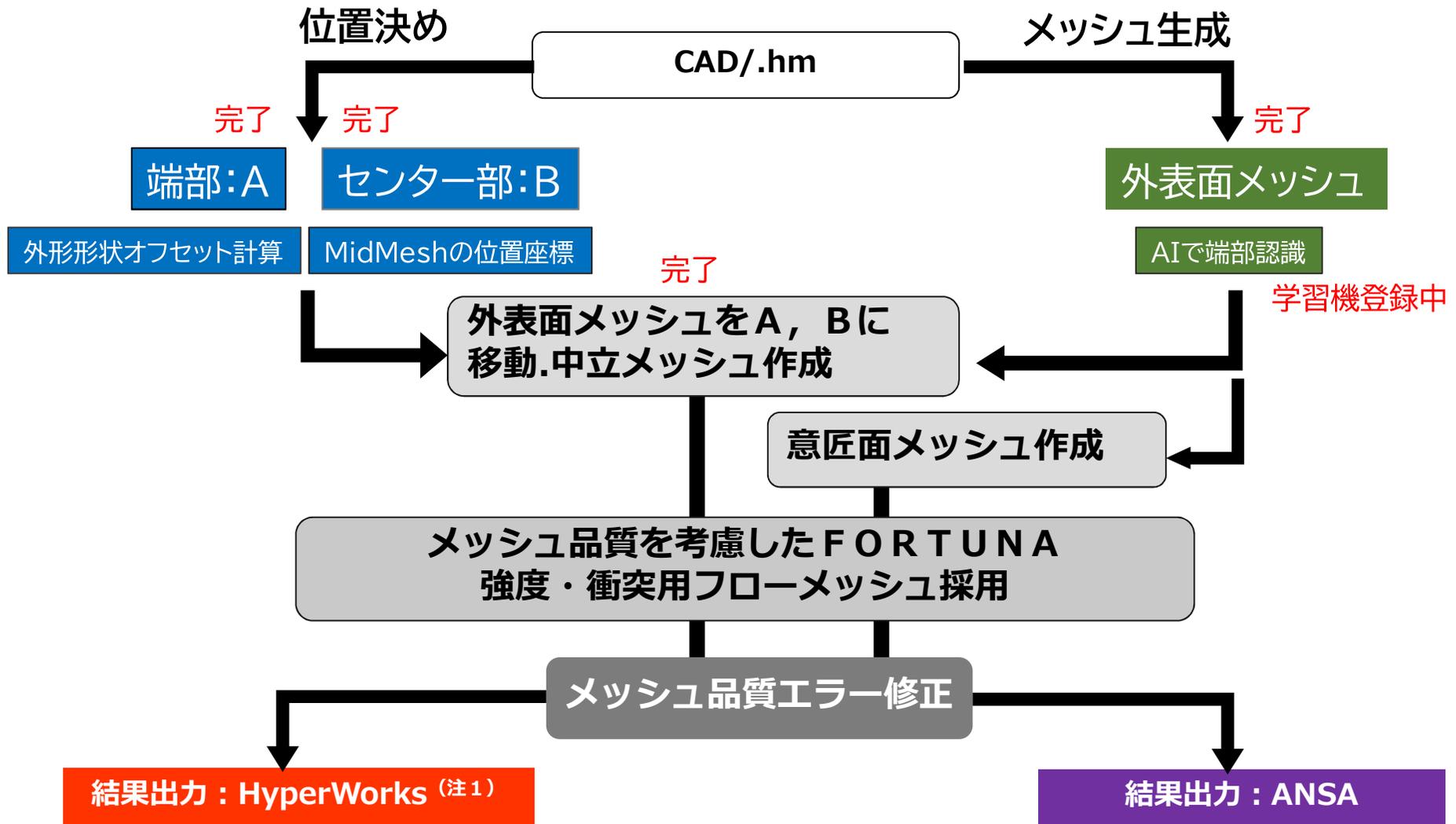


LATONA9:外表面メッシュ



LATONA9:外表面メッシュを中立位置に移動

# LATONA9の構造図



注1: アルテアエンジニアリング社の登録商標です

注2: BETA CAE SYSTEMS社の登録商標です